

## 化石博物館の連携 —日本初のモササウルス全身組立—

一般公開は  
25日から!  
穂別博物館で!

昨年10月から半年かけて、むかわ町穂別でみつかったモササウルス\*の全身骨格を組み立てました。穂別博物館からの依頼によるものです。  
この復元作業には3つの重要な特徴があります。

- ① モササウルスの復元としては、日本初：各地の博物館にあるモササウルスの骨格は、外国産の化石。今回初めて日本産のモササウルスができあがりしました。
- ② 3Dプリンターを活用：化石の骨格はあちこち欠けているのが普通。足りない部分は粘土細工などで原型をつくっていましたが（足寄博物館でもそうです）。今回は、足りない部分はパソコン上で制作し、3Dプリンターで打ち出しました。それに従来の粘土細工も加え、全身の骨格をそろえました。
- ③ 博物館連携\*\*：道内の化石博物館のネットワークが動き出し、連携の機運が高まるなかで具体的な連携の事業が実現しました。



体長 360cmのモササウルス（フォス  
フォロサウルス ポンペレガンス）  
全身の姿がきまり彩色しているところ

\*モササウルス：白亜紀後期の7,900～6,600万年前に海にすんでいた肉食の海生爬虫類。オオトカゲに近い。日本では北海道や近畿地方で化石が見つかる。

\*\*足寄動物化石博物館は、道内の博物館から支援をいただいていた皆さんの展示物をつくることができました。各地の博物館は、所蔵している化石、学芸員などの人材（専門分野や技術などを含めて）、運営方式など「かたより」があります。それを補うような連携がすすむと「北海道の化石」はますますおもしろくなります。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる  
指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

No. 150  
2019年 4月26日発行

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

（年4回発行）

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp （博物館だよりpdf版あり）

## ごあいさつ

博物館指定管理者 特定非営利動法人あしよろの化石と自然  
理事長 高橋一二

20年記念事業を無事終えることができました。多くの皆様にお世話になりましたが、とくに、8月5日の恐竜講演会は「伝説の講演会」となる盛況ぶりでした。お忙しい中、駆けつけてくださった北海道大学総合博物館の小林快次先生にあらためてお礼を申し上げます。

さて、今年は、1969年の「忠類ナウマンゾウ発見」から50年となります。この発掘をきっかけに、日本全国の化石事業が大きく発展したといわれています。忠類での発掘は足寄町の化石事業のルーツのひとつと考えることもできます。50年記念の盛りだくさんの行事が企画されているようです。道内の化石博物館ですすんでいる連携がここでも発揮できるとすばらしいと思います。

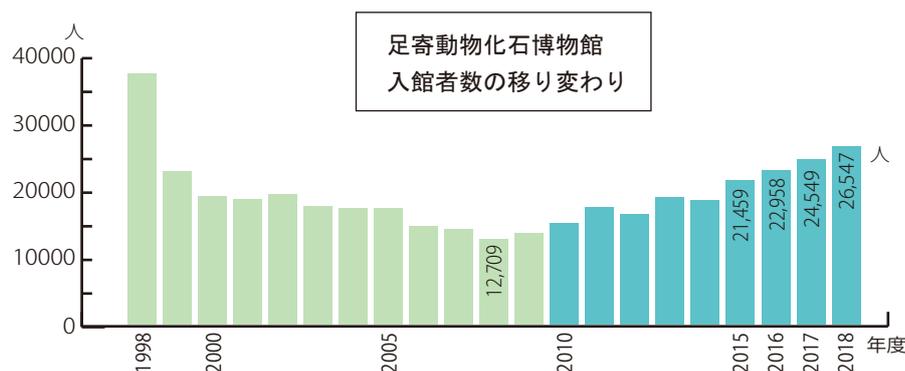
足寄の博物館を管理する法人としましては、指定管理の第3期に向けて条件整備をおこなう年です。新町長にご理解をいただき、より良い足寄動物化石博物館が実現するよう努力いたします。新しい研究方針・人事体制・展示や化石体験の充実など課題は山ほどあります。一步いっば着実に進んでいきたいと考えます。

暖かいご支援をお願いいたします。

## 入館者 ひきつづき増加

2018（平成30）年度の入館者は、26,547人でした。

指定管理第2期が始まる2015（平成27）年度に、入館者が2万人台を回復し、その後も堅調に伸びています。開館以来の最低を記録した2008年度（12,709人）に比べると2倍を越えました。



2010（平成22）年度から指定管理者制度により「NPO法人あしよろの化石と自然」が管理運営にあたっています

# あしよろ化石教室

ご家族で、お友だちと、お一人でも、自然のなかで、大地と向きあう時間をお楽しみください。2019年度、3回おこないます。



## 参加方法

各回の申込用紙に必要事項を記入して、  
博物館へ 締め切りまでに届けてください。

来館、ファックス、郵便、で。  
Eメールの場合は用紙書式でなくてもOK。  
(氏名・年齢・住所が必要)  
申込用紙は、博物館受付にあります。  
ウェブサイトからでも入手可能。

集合場所・時刻などのご案内は締め切り後にお送りします。

注：保険料（一人100円、各回）が必要。

6月2日（日）  
申込 5月20日

## 足寄町 螺湾・モラワン

足寄の動物化石たちのふるさとモラワンで、2500万年前の海の地層を「たたき」ます。

螺湾らわんでは、古十勝湾にたまった地層をわって貝の化石を探します。貝殻はないのですが、500万年前とは思えないすごくきれいな模様がある、不思議な化石です。

7月7日（日）  
申込 6月24日

## 釧路市阿寒町

北海道の鮮新世（500～260万年前）を代表する化石タカハシホタテが発掘できる可能性が高い。場所は、阿寒シェル探掘地。

7月28日（日）  
申込 7月16日

## 白糠町右股

足寄町モラワンから東に山を越えると右股みぎまた。3000万年前ほどの海の地層から巻き貝や二枚貝を掘ります

## コミュニティールームでおもしろ本をよもう

動物や化石関連で、おもしろいタイトルの本が増えています。

「ざんねんな～」「へんな～」「なける～」「せつない～」。それぞれユニークな視点から動物をとらえています。書店でも売れ筋のようです。

受付の隣の「コミュニティールーム」にそろえています。気分転換に(?)手に取ってみてください。



## 連休がおわったら博物館へ 5月12日の行事ふたつ

### 探鳥会 春の里山の鳥たち

5月12日（日）  
午前8時 里見が丘公園駐車場に集合  
申込不要 2時間くらいの予定

防寒着、長靴、双眼鏡、  
カメラ、筆記具など  
ご用意ください

### 「地質の日」協賛 「石はみがくと玉になる」

5月12日（日）  
午前10時～15時の間に 博物館化石工房においてください  
申込不要、入館料不要、材料費300円

十勝石を半分に切って、アショロアの骨格の絵  
をつけたものを提供します。

1時間かけて、みがきます。

みがきたい石をお持ちいただいても  
けっこうです。石の種類・大きさ・磨  
きかたによってその日に完成できない  
かも知れませんが、挑戦しましょう。



およぐアショロア入り十勝石

## 博物館のあとは 里見が丘公園へ

里見が丘公園に「遊戯広場」が4月27日にオープン。  
場所は、足寄市街の西側にある丘の上。総合体育館  
と足寄高校のあいだです。

昨年できた「ふわふわドーム」、暖かい足湯に加えて  
巨大すべり台やジャングルジムができます。

博物館からは車で数分です。



#### 足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）
- 休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）  
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）  
※海の日から8月末までは、全日開館します。
- 料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円  
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。  
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



入館者が増えている、ということは、化石体験の数も増えている、ということです。ミニ発掘は、はじめた2007年から10倍に増えました。館内化石工房の一部は工場のようになっています。・・・博物館を設計した建築家は「化石工場」をイメージされたようですが・・・。